

◆年末年始 恒例祭のご案内

○大祓式 歳晚祭

十二月三十一日 土

半年に一度個々の罪穢れを形代で祓うと共に一年の御加護に感謝を捧げます。 ※神社よりお配りした形代(大形)にて各自お祓いをし、清々しく新年をお迎え下さい。

○元旦祭 家内安全特別合同大祈願祭

併せて、初日を拜む会

一月一日 午前六時半

新年を言祝ぎ、皇室の弥栄と国家の繁栄、そして氏子崇敬者の平安と幸福を祈念致します。

※どなたでも参列出来ますので、希望者は十五分前までお越し下さい

○暁まいり

一月十五日 土 午前零時

小正月。日本各地にて厄落としの行事が行われており、当社にては、古よりこの日に厄祓を行っております。

○どんど祭

一月十五日 土 午前六時～八時半

古いお神札などを清浄な火でお焚き上げし、御神火に無病息災を祈ります。

◆御祈禱のご案内

○新年家族並個人及団体祈禱

一月一日 午前零時～午後四時

※ 随時御奉仕しておりますが、お受け出来ない時間もありますので事前にご連絡下さい

※ 元旦午前零～一時、九～十二までは兼務社出向の為官司不在につき、神職の本田様に「祈禱をお願いしております」ことを申し添えます。

二日以後は通常通り予約制にて午前九時～午後四時頃まで毎日行います

家内安全、厄除、商売繁盛、合格祈願 等

○年末年始 神棚祭 氏神祭 家祓等

要予約

平成二十年厄年表

お早めにお祓いをお受け下さい

	前厄	本厄	後厄
男性	昭60年 24歳	昭59年 25歳	昭58年 26歳
	昭43年 41歳	昭42年 42歳	昭41年 43歳
女性	昭24年 60歳	昭23年 61歳	昭22年 62歳
	平3年 18歳	平2年 19歳	平3年 20歳
	昭52年 32歳	昭51年 33歳	昭50年 34歳
	昭48年 36歳	昭47年 37歳	昭46年 38歳

※ 上・生まれ年/下・数え年

坪沼八幡神社社報

祝 社務所改修工事竣工



伐採を終えた表坂

ご挨拶

坪沼八幡神社社報 第四号
発行所 坪沼八幡神社社務所
代表者 宮司 高山晃和
仙台市太白区坪沼字鐘前六十九
電話 二八二一五八九 FAX 〇六五一

いよいよ本年も押し迫って参りました。今年一年振り返りますとみなさんもそれぞれ、喜びや悲しみいろんな出来事があったことでしょう。神社におきましても前宮司が逝去し、多難な年となりましたが、八幡大神様のお導きのもと、私こと七月に宮司に就任以来間もなく半年、これまで総代を始め氏子崇敬者多くの皆様を支えを頂戴しながら、宮司の真に重き任を何とか務めさせて頂いております。皆様のご厚情に感謝申し上げます。さて、来年は十二支はじめの子年です。人は一年二年を繰り返して歳を取り、そして先祖より繰り返して生命を繋ぎました。このように一つ一つ積み重ねて今日があり、誰にでも気の遠くなるような繰り返しがあつて今があるのだと分かります。良いことばかりではありませんが、そのような時も良い行いをしていればきつといつかは光が見えてまいります。それには神の力によって今生かされてい

一月の行事 予定

○三日 節分祭

福豆をお配り致しますので各戸で元氣よく豆まきをして下さい

○十一日 紀元節祭 奉祝県民大会

神社では日本の建国を奉祝し建国祭を執り行い、その後市内中心部で行われる祝賀式典に参加します。

○十七日 頃 祈年祭

収穫を祈る大祭で新嘗祭とともに全国の神社で行われる重儀

例大祭のお知らせ

平成二十年の例大祭は四月十五日を守りつづ、十二日 土 に神輿渡御、十三日 日 に奉祝行事を行いたいと思います。

編集後記

今回二年ぶりに第四号を発行することが出来ました。神社のいろんなことを写真をいっぱい使って発信していきたいとおもっておりますが、今回は紙面の関係上もあり、活字ばかりとなっております。見づらかったかと思いますが、最後まで読んで頂きありがとうございました。

ホームページ <http://www.tsuonuma.org> もご覧下さい

◆ 神の恵みと祖先の恩に感謝しましょう

◆ 初詣は先ず氏神さまへ

◆ 月に一度は神社をお参りしましょう

社務所改修工事終了

去る十一月二十五日、恒例の新嘗祭にあわせ、九月より段階的に進めておりました社務所の改修工事が竣工するにあたり、神前への奉告祭と落成披露を行いました。総代若長をはじめ、来賓として関係代表を招き目度々お披露目を終えました。

これもひとえに氏子皆様の御奉賛の賜と感謝申し上げます。式典では、施工を請け負い、立派に納めて頂きました菅原工業の菅原拓社長に感謝状の贈呈を行い、その意を表しました。また、ご尽力頂いた関係各位にも深く御礼申し上げます。

内容については、中と外にそれぞれ男女別の水洗便所を新設し、平常の日から大きな行事にも使える利便性のあるものとし、内装ともども明るく暖かみのあるものになり



なりましたので、ぜひお越し下さい。また、ご利用ください。

また浄化槽を設置しましたが、環境問題を考えても、虫の里たる坪沼にとって、今後大事なことだと考えます。まだのご家庭がありましたら、経費は大変なところもあるかと存じますが、今は仙台市の助成が増え少ない負担で出来ますので、予算化されている早めの内に行うってほしいです。

また他に今後青少年対策などで活用したいと思っておりますが、宿泊も出来るよう、ユニットバス 風呂を新品同様ではありますが必要になったものの移設しました。その他の工事としては、剥離や損傷ある外壁の補修などを実施しました。

土留め工事をはじめ、神社から社務所への坂の拡張や地ならしなど土木にあたっては、カンノ工業さんに依頼し、青年部の協力も戴きながら行いました。今後は氏子の皆さんに大いに「ご利用いただくように、より一層親しみある神社にしていくべく活用方法などを企画しますので、ぜひお越し下さい。また、自分の神社なので、日頃から足を運んで頂きたいと考えております。



神社林の一部伐採と間伐実施

当社の鎮守の森は、「日本の米カレンダー」にも採用されました通り、杉木立にこんもりとおおわれ、まさしく神の住むにふさわしい森だと思えます。御社殿のまわりは何百年という大木がそびえ立ち、悠久の歴史を感じます。そのような中今回当初の計画により、大切な財産ではありますが、神社林の杉やヒバを一部伐採致しました。やむをえないことは申せ、何ものにも神が宿るとされ、木にも命があり、神が宿っているため、お祓いをして行いました。

まず表坂ですが、今までは薄暗く、こげや水で滑りやすかったので、階段両脇一列を伐採しました。光が差しこみ、また道路からもよく見え、防犯上も向上しました。

また、駐車場の確保と、神社までの道路を拡幅するため、神社裏の市道沿いを伐採しました。お祭りまでは整地する計画です。その他、九月の台風であわや長床をつぶすことになったかもという倒木がありました。枯れや腐れ、虫食いなどが見られましたが、枯れや腐れ、虫食いなどが見られましたが、あわせて危険木を伐採しました。また植林してから間伐を実施していなかっただけ、五十年以上もたちながら太くな

れない木が多く、やがて千年の森を作るためにも、また子孫たちがお宮をお立て替える際にも対応出来る木材を育てるために、一部間伐をさせて頂きました。これから先何十年何百年という長さで、神社の森がずっと立派に育つことでしょう。

昨今地球温暖化や、環境問題がさげばれておりますが、日本では鎮守の森を見て分かるように、木や自然を大切に守ってきました。また家も木の恩恵を受けて建てているように、昔から木とは切っても切り離せない文化を持っています。日本が他国と違うことは、切るだけでなく木を植えて育ててきたことで世界に誇れることだと思います。

昨今は林業が衰退し荒れた山が多い中、当社の森は氏子の皆さんのご奉仕により、戦後の植林からはじまり、毎年持ち回りで汗水流して下刈りを行って頂いたお陰で、まさに見本のような森になりました。

伐採にあたっては、秋保町馬場の佐藤林業さんに相談し、無償で行って戴きました。氏子の皆さんには今後とも鎮守の森につきまして、子孫に残す物心両面の財産でありますので、管理は容易ではありませんが、ご理解協力をお願い申し上げます。

例大祭 賑やかに斎行

今年の例大祭は、四月十四・十五日と肌寒い中にも何とか天気にも恵まれ、大勢の参拝者が訪れ賑やかに盛大に行われました。土曜日の神輿渡御と日曜日の本祭り引き続きの奉祝行事など、活気ある年に一度の例大祭をご奉仕することが出来ました。関係各位をはじめ、御奉賛会社、演芸奉納者などお世話頂いた皆様本当に有難う御座いました。



新役員 総代就任 第3号以降 敬称略

- 総代 針山 大井正一
- 中沖南 菅原 拓
- 菅野正男
- 会計

敬婦だより

ご婦人方には、いつも頭が下がります。敬神の念熱く、例大祭をはじめ、数々の行事にご奉仕を頂きました。清掃奉仕も辛い、境内を綺麗にして頂きました。宮城県敬神婦人の総会でもバスを貸し切ってもらって参加されました。笑いが絶えない楽しい会で、いつもこちらが元気を頂いている、そんな皆さんです。ありがとうございます。

協力会だより

今年のお祭り前に坪沼八幡神社協力がが発会しました。会長には北区の佐藤勝英さんがつき、いろんな方が入っていただきました。例大祭は大いに盛り上げて頂き、熱い地域の人たちの力を感じました。その他、花見や芋煮会を主催したり、神社の様々なことへ、ご協力いただきました。秋の竹切りは悪天候のため、延期になりましたが、皆さんのご奉仕の心に感謝申し上げます。なお、新規参加者も歓迎です。